

令和6年度使用小学校用教科用図書採択結果及び採択理由について

津幡町教育委員会



標記について、令和5年8月23日に開催した令和5年第8回津幡町教育委員会議で審議した結果、下記のとおり採択しました。

記

種 目	発行者番号 略 称	継続・採択替え の別
国 語	38 光 村	継続 採択替え
書 写	38 光 村	継続 採択替え
社 会	2 東 書	継続 採択替え
地 図	46 帝 国	継続 採択替え
算 数	2 東 書	継続 採択替え
理 科	2 東 書	継続 採択替え
生 活	61 啓 林 館	継続 採択替え
音 楽	27 教 芸	継続 採択替え
図 画 工 作	116 日 文	継続 採択替え
家 庭	2 東 書	継続 採択替え
保 健	2 東 書	継続 採択替え
英 語	2 東 書	継続 採択替え
道 徳	116 日 文	継続 採択替え

(津幡町教育委員会)

種目	国語	発行者番号・略称	38 光村
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・2年以上の巻頭の「国語の学びを見わたそう」には、学級のみinnで考え、学びを深めていくための学習の進め方が示されている。各単元の「学習」コーナーも同じサイクルで構成されていて児童が学び方を身に付けられるように考慮されている。 ・2年以上の各単元の「学習」コーナーでは、作品との出会いを通して児童から「問い」を引き出すことで考えたくなるような仕掛けとなっている。課題意識をもち、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・二次元コードとともに、「動画」「音声」「資料」などのコンテンツ内容が示されている。また、「書くこと」単元で掲載している作例の全文や書くための統計資料なども選んで見ることができ、指導者が必要に応じて活用できるように配慮されている。 ・多様な児童のために、文字のフォントや文字の色などを工夫するなどユニバーサルデザインになるよう配慮されている。光村独自の書体に読みやすさへの配慮が感じられる。 		

種目	書写	発行者番号・略称	38 光村
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で猫のキャラクターが登場し統一感がある。「止め」は「ぴたっ」、「払い」は「すうっ」などと児童に分かりやすい言葉とキャラクターの動きで筆使いのポイントが示されてしている。また、筆使いにこだわった「たいせつ」のポイントが簡潔で分かりやすく書かれている。 ・3年の巻頭に「毛筆スタートブック」が掲載されており、毛筆学習の目的や用具の扱い方、学習の進め方が写真で示されている。また、3年生以上の各教材に「学習の進め方」が示され、写真でも解説してあるため、何をどう学ぶのかをイメージできるように配慮されている。 ・国語教科書と連動した教材が全学年で設定されており、学習活動に必然性が生まれるよう配慮されている。また、他教科と関連させたページが掲載されている。 ・二次元コード総コンテンツ数363点。様々な動画でポイント解説を見ることができるようになっている。筆使いの解説動画は、上からと斜めからの映像で筆使いの確認ができるよう配慮されている。 ・SDGsを意識した教材が全学年で取り上げられている。4年では、「SDGsブック」が掲載されており、書写の学習に関わるSDGsの取組が紹介されている。 		

(津幡町教育委員会)

種目	社会	発行者番号・略称	2 東 書
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 单元ごとに「つかむ→調べる→まとめる→いかす」が位置付けられ、自主的・自発的学習を促しており、児童はもちろん、指導者にとっても進めやすい。 ・ 社会的な見方・考え方をイラストの種類を変えて、適所に提示することで、児童の深い学びにつなげることができるようになっている。 ・ 「まなび方コーナー」では、様々な調べ方やまとめ方が系統的に示されている。 ・ 各小单元に配置された「まなびのポイント」では、学習段階に応じた活動を例示し、「主体的・対話的で深い学び」を意識した問題解決学習が行えるように配慮されている。 ・ 3年では、導入单元「学校のまわり」を充実させることで、生活科からの学習のつながりや自分たちの地域の様子と結び付けて学習を進めやすくしている。 ・ 石川県の題材が取り上げられており、身近な地域の様子から学習内容を捉えることができる。 (4年「わたしたちの県」：北陸新幹線、4年「水はどこから」：金沢市・石川県 5年「これからの工業生産」：輪島塗、6年「江戸幕府と政治の安定」：加賀藩参勤交代図) ・ すべての单元において二次元コードが配置され、様々な動画や資料、ワークシートが提示され、学習に活用しやすいようになっている。 ・ 5、6年生では上下分冊となっており、持ち運びへの負担軽減の配慮がなされている。 		

種目	地図	発行者番号・略称	46 帝 国
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初に、地図帳の使い方を丁寧に表記されているので、児童にとって地図帳に慣れやすいものとなっている。 ・ 教師が児童にとって発見してほしい都道府県名や市町村名などが大きく書かれているので、児童にとって探しやすいレイアウトとなっている。 ・ 「地図マスターへの道」では地図を活用して解く問題が載っており、児童にとって興味・関心の高まる内容となっている。 ・ 自然災害や防災への取組を例示したりするなど、社会科の様々な学習内容とリンクしてとても使いやすい地図帳となっている。 		

(津幡町教育委員会)

種 目	算 数	発行者番号・略称	2 東 書
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年に、「おぼえているかな？」が適宜設けられており、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるように配慮されている。 ・まとめの後の補助発問「それなら」が設けられており、既習を発展させ、新たな課題を見出して、解決しようとする態度や力を育むことができるように配慮されている。 ・2年以上では、学習したことを日常生活に活用する「いかしてみよう」が適宜設けられており、学ぶことの楽しさや意義を実感できるように配慮されている。 ・巻末の「おもしろもんだいにチャレンジ」で、学びを日常の世界・数学の世界で活かす力が高められるように配慮されている。 ・1年の「はじめよう！ さんすう」では、A4判で書き込み欄が設けられており、ノートづくりの素地を養うことができるように配慮されている。また、ブロック操作等の活動がしやすいつくりになっている。 ・裏表紙にある「表紙の作品 作者のことば」では、子どもに幅広く算数・数学を楽しむ興味づけとなる内容になっている。 ・全ての児童の色覚特性に配慮されたデザインや色遣いになっている。 ・二次元コードを読み取ることで、一人一人が手元で数学的活動に取り組んだり適用問題に進んだりできるように配慮されている。 		

種 目	理 科	発行者番号・略称	2 東 書
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙とつながりのある巻頭で児童の学習意欲を高める配慮がされている。また、1年間の学習内容が4領域で示され、巻末の「ふりかえろう」では領域ごとに見返す配慮がされている。 ・単元を通して、「問題をつかむ」→「調べる」→「まとめる」→「広げる」→「ふり返る」という課題解決学習の流れがあり、学習活動が大きく分かりやすく表示されている。特に「広げる」では、学んだことから自分の考えや深めるための配慮がされている。 ・実験・観察の際に使う観察カードやワークシート、ノートなどへの記入例があることで、どのように記録したらよいのか分からない児童に対する配慮がされている。 ・デジタルコンテンツが非常に充実しており、単元の学習の中で適切な場面で使えるよう工夫されている。コンテンツの一覧表、白黒反転ボタンがあり、単元毎の理科ノートのダウンロードやデジタルワークシートで考えを書いたり、グラフを作成したりすることができる。また、「資料」では、各種動画や省庁のウェブサイトを見ることができる。さらに、「話し合いの例」や「デジ活」を用いると、問題の見い出しと計画をデジタル画面上で行うことができるように配慮されている。 ・サイズがA4判で大きいため、図や写真等が見やすく迫力を感じることができる配慮がされている。 		

(津幡町教育委員会)

種目	生活	発行者番号・略称	61 啓林館
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻巻頭が「すたあとぶつく〜がっこうだいすき いちねんせい〜」で、幼児期に体験したことが写真で示されており、幼稚園・保育園からの移行がスムーズになるように配慮されている。また、下巻巻末「3年生へのステップブック」では、生活科で学んだことが3年生以上の学習につながることを示されており、児童が意欲をもって進級できるように配慮されている。 ・上巻「わたしのはなをそだてよう」・「生きもの大すき」では、多様な花と種の写真や哺乳類や昆虫、魚類などが一緒に掲載され多種多様な生きものとの触れ合いが想定でき、児童の意欲が喚起されるようになっている。 ・下巻「大きくそだてわたしの野さい」では、野菜の写真が掲載されていると同時に野菜の切り口の写真も掲載されており、多様な見方ができるようになっている。 ・上巻の途中から学習した漢字が使われており、児童の実態に即している。 ・下巻「わくわくどきどき2年生」では体験活動を「1年生をむかえよう」とし、進級した喜びとお兄さん・お姉さんになって誇らしい児童の気持ちに寄り添った活動内容となっている。 ・上下巻を通してあたたかい挿絵や言葉で、命の大切さを意識した構成になっている。 ・児童の豊かな感性や表現力を育むための「びっくりずかん」、基本的な知識・技能を示した「がくしゅうずかん」、児童の探求意欲に応える「デジタルたんけんブック」の3つの図鑑が用意されており、児童の深い学びを支えている。 		

種目	音楽	発行者番号・略称	27 教芸
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの題材が、おおむね歌唱、器楽、鑑賞又は創作で構成されており、多様な活動を通してねらいに迫ることができる。 ・学習の過程で「何を学ぶのか、何ができるようになるのか」を「考える」「見つける」「演奏する」などのアイコンで示されており、ねらいを確認しながら学習に取り組むことができる。 ・全学年に共通したキャラクターが吹き出しでヒントを出すことで、児童が工夫したり考えたりする視点が明確になり、学習活動に取り組みやすくなっている。 ・ほぼ全ページに二次元コードが付いており、端末を使った学習に対応している。特に、創作教材のデジタルコンテンツが優れており、児童が試行錯誤しながら創作できるよう工夫されている。 ・「みんなで楽しく」のコーナーを中心に、英語の歌、国語や社会の学習と関連した歌が掲載されており、他教科との関連が図られている。 ・打楽器(低)→金管楽器(3年)→木管楽器(4年)→弦楽器(5年)→オーケストラ(高)へと題材が系統的に配列されており、各学年で詳しく学習できる構成となっている。 ・情報収集の仕方(4年)、著作権(6年)について知る場を設定してあり、生活や社会と音楽との関わりを考えることができるようになっている。 ・「歌声ルーム」や2年生以上の「がくふマスター」では、声の出し方や楽譜の読み方等を学習する場が設定され、音楽表現に必要な知識を習得できるように配慮されている。 		

(津幡町教育委員会)

種 目	図画工作	発行者番号・略称	116 日 文
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の始まりに適した授業開き題材を各学年に準備されている。 ・造形遊びは低学年では、材料や行為から活動を行い、中学年では、材料や行為から活動に各学年に1題材ずつ場所から考える活動が増え、高学年では、場所から考える活動を行うように、発達段階に応じた6年間を見通した構成になっている。 ・絵に表すは想像したことから、生活経験から、物語などから、材料や用具から、版に表す内容が各学年同じ数の題材で構成されている。制限のある内容から想像することや物語や詩、随筆など発達段階に応じて取り扱う内容が構成されている。 ・立体に表すは絵で表す内容と関連して1方向から見える絵画表現を8方向から見る立体に表し、立体表現にする内容が含まれている。 ・工作に表すは全学年通して「遊ぶもの・仕組みから」考える題材と「飾る・使うもの」を考える題材を中心に、中学年後期から「伝えるもの」が加わり、より相手意識を持つことができる題材が配置されている。また、中学年から社会やみんなとのつながりを意識した題材が構成されている。 ・鑑賞は低学年では、身の回りのもの、中学年から身の回りのものと著名な作品、芸術作品、高学年では、過去の芸術家が見つけた自然の中の美しさ、自然をどのように表現してきたかを考えるような構成になっている。また、伝統的な文様や受け継がれてきた形など、文化の継承も意識した内容である。 ・ほとんどの題材が鑑賞とセットになっていて、感じながら味わいながら制作を進めていくことを大切にしている。 		

種 目	家 庭	発行者番号・略称	2 東 書
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の内容が大きくまとまっていることにより（5年生8単元、6年生7単元）、児童自らが実践したことを丁寧にふり返ったり、改善したり、計画を修正したりする時間が設定できる。 ・知識技能の習得において、「なぜそうするのか」が分かるように、考えたり実験したりしながら実感を伴った理解ができよう工夫してある。 ・大題材の導入時には、すべての児童に問題発見を促すことができるように、写真やイラストを用いて考えさせる場を設定している。様々な家庭環境の児童がいる中で、自分の家庭を想起することが難しい児童に配慮した提示の仕方である。 ・キャラクターが授業での疑問や問いかけを的確に話しており、児童だけでなく授業者にとっても授業でおさえるべきポイントが分かりやすくなっている。 ・デジタルコンテンツが充実していて、思考ツールも数多く掲載されている。一人一台端末を活用してXチャートやベン図などに意見を書いたり動かししたりしながら整理できるようになっている。協働的な学びの場で活用することで、さらに思考が深まることが期待できる。 ・巻末の「いつも確かめよう」では、実習技能の大切なポイントが分かりやすくまとめて掲載されており、必要な時に児童が自分の力で確かめられるようになっている。児童が実際に手を置いて練習することができるように実寸大の写真を掲載するなど、安心かつ安全に実習に取り組むことができるように配慮されている。 		

(津幡町教育委員会)

種 目	保 健	発行者番号・略称	2 東 書
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えを書ける書き込み欄が豊富で、ワークシートを作らなくてもよく、使いやすい。 ・二次元コードを読み取ることによって、色々な使い方ができて便利である。 ・二次元コードが大きく、児童用タブレット端末のスキャン機能で読み取りやすい。 ・表紙が色々な立場の人が描かれており、多様性を考えていくことにつながる。 ・各章の「ステップ4」(まとめる・生かす)では、学習内容をこれからの学習や生活に生かすための活動が設定されており、知識や技能が習得できるように配慮されている。 ・「ステップ2」(調べる・解決する)、「ステップ3」(深める・伝える)という学習の流れになっており、情報を集めたり学んだことをもとに筋道を立てて説明したりする活動を通して、思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮されている。 ・各章の「ステップ1」(気づく・見つける)では、主体的に課題解決に向かうことができるように、自分の生活を振り返って課題に気付くことができるように活動が設定されている。 ・「資料」では、学習内容と関連した発展的な学習が取り上げられ、児童がさらに学びを深めたり広げたりすることができるように配慮されている。 ・「実習」や「スキル」のコーナーがあり、実際にロールプレイで体験することができる。 		

種 目	英 語	発行者番号・略称	2 東 書
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元中、聞くこと、話すこと(やり取り)、読むこと、書くことの活動が、複数回設定されており、知識や技能を段階的に定着させることができるように配慮されている。 ・各単元末の「Sounds and Letters」では、自然な英語の発音を身に付けるために、2年間を通じて繰り返し学習できるように配慮されている。 ・各学年の「Check Your Steps」では、それまでの学習で身に付けた知識や技能を活用し、思考力・判断力・表現力等が高まるように、思考ツールを使って情報を整理しながら表現する活動が設定されている。 ・各単元末の「Enjoy Communication」では、モデル文や表現例、単語の例が示された目的や場面、状況を伴った言語活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等の育成に配慮されている。 ・単元の最初に身に付けさせたい資質・能力を示した「Our Goal」が示されており、各単元の学習に見通しをもつことができるように配慮されている。 ・別冊「My Picture Dictionary」にある「CAN-DO の樹」では、各学年における到達目標が明示されており、単元ごとに学習を振り返り、できたことを確認できるように配慮されている。 ・各単元末の「Over the Horizon」では、映像を見ながら質問に答えることで、世界の様々な文化や生活などに触れることができるように配慮されている。 ・2学年を通じて、SDGsの17の目標に関連した環境問題に関する題材が取り上げられている。 		

(津幡町教育委員会)

種 目	道 徳	発行者番号・略称	116 日 文
選 定 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の巻頭「道徳の学び方」では、学習方法を「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」と示し、特に「考える・深める」では、言語活動の「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」を、写真と吹き出しで提示し、協働的な学びについて児童がイメージしやすいように示している。 ・別冊「道徳ノート」が用意されており、紙とデジタルと選択できるようになっていて、自由記述欄では絵、図、文などで自分の考えを整理できるように配慮されている。 ・体験的な学習を取り入れると効果的な教材には、「ぐっと深める」が挿入され、具体的な活動例や留意点が示されている。役割演技や動作化の写真が数多く提示され、実際の授業のイメージを抱きやすいように配慮されている。 ・各教材の冒頭には、教材の内容を把握しやすいように、登場人物と教材に興味を湧くコメントが書かれ、考え議論する時間を確保しやすいようにしている。さらに、教材に入り込むきっかけとなる問いが書かれ、主体的に考える手立てが工夫されている。 ・別冊「道徳ノート」の巻頭「道徳ノートの使い方」には、友達の考えを記載する自由記述欄や、毎時間の自己評価欄、学期ごとに振り返るページが設けられ、主体的な学びとなるように配慮されている。 ・「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」など、様々な教材が扱われている。また、全学年、全教材に教科書デジタルコンテンツが用意されており、教材に関連した画像や動画を閲覧し、興味関心を高めながら学習することができる。 ・巻末には「見つけた！ここにも道徳」が全学年に設定され、駅や山での看板やユニバーサルデザインの使われ方などが掲載され、身近な生活の様々な物事と、道徳科の授業で学んだことのつながりを考えることができるように考慮されている。 ・教材の後にコラムとして「心のベンチ」が各学年に設定され、本教材とは異なった角度から他の教科とつなげて考える素材が提示されており、児童の見方・考え方を広げることができるように配慮されている。 ・「いじめ防止」が最も重要なテーマとして位置づけられ、いじめ防止に関わる教材はまとめてユニットとして年間3回配列され、人との関わりを繰り返し重点的に取り扱い、心のベンチと組み合わせて、深い学びに到達できるよう配慮されている。 ・巻頭のオリエンテーションのデジタルコンテンツから「議論する道徳」の具体例を示した動画を視聴できる。また、教材文のデジタルコンテンツからは、朗読音声やアニメーション、動画、ワークシート、思考ツールが入った道具箱等が活用できるようになっている。 		